



MIKE PORCARO (TOTO)

マイク・ポカロ、1955年5月29日生まれ。デイヴィッド・ハンゲイトからトトのベースラインを引きついで、ポカロ3兄弟の次男である。最もハンサムなポカロとして日本でもベジスト人気投票の上位に顔を出すようになった。
トトのプロモーション・フィルムや、ライブで接する限り、もうすっかりトトのメンバー。ジェフとともにトトのリズムラインをしっかりとしめる。ボズ・スキヤグスやラリー・カールトンのツアーメンバーとして日本のステージにも何度か登場している。スティーブ、ジェフ同様ダイナミックなリズム感が身上。
80年代をリードすると自他ともに認めるアメリカンバンド、トト。スティーブ・ルカサーのページでもふれたが、彼らは底ぬけにオープンな気質を有する。スカットとクリアなニューマンティがサウンドにも反映している。アメリカは東から西へ開拓された。ウエスタン映画でお馴染みの西部開拓史である。逞ましい男たちが自分だけの意志と行動力と腕力によって際限のない自由の中に生きていた時代。カリフォルニアは多くのバイオニアーズの目的地だった。トトのメンバーは、カリフォルニア人である。いわば、西部開拓史を生



MC924PW

きた人々の息子たちなのだ。カリフォルニアから発生する様々なムーブメント、カリフォルニア・ヴァイブレーションは、いまだに続く西部開拓史のパートIIなのかもしれない。アメリカン・ドリームのスピリットは、星条旗に星が50個整列した今もなお胎動している。
パートIIのバスファインダー（先駆者）たちは、かつての6連発、コルトフロンティア・モデルにかわり、ニュー・フロンティア・スピリッツとエレクトロニクスを駆使する。コルト・フロンティア・モデルは、1836年に創られた。軍用としてビースメーカーと名づけられた45口径のもの、民間用には44口径のものがあつた。民間用のは、コルト・イコライザーと呼ばれた。つまりこれさえもば、小男も僅に大男に匹敵するという意味である。
マイク・ポカロは、ジャパンツアー中、MC924の3バンド・イコライザーをたくみに駆使し、サウンドゾーンを構成していた。コルト・イコライザーと、イノニクスMC924に装着されたイコライザーのスピリットは大きな武器という点では同一である。150年をへだてて存在するフロンティア・スピリッツが構成したという意味でも、又、違いはない。



MC924

MCシリーズ独自のロングサステインとアタックのきいたサウンドは、スルーネックタイプならではのもの。24フレットの全域にわたり完璧なブレイアビリティをおとします。ベース専用の3バンドEQがマウントされ、ローノイズでライブからスタジオまで、あらゆる音場適正をもたらします。スーパー・エレクトリックベース、MC。
日本人のバイオニア・スピリッツも完璧にフォローできるはず。心ある方に。

ニュー・フロンティア・スピリッツとエレクトロニクスを駆使するウエスタン。



MC924DS

MC824

ワンピクアップ+トライサウンドシステムが、シンプルなスルーネックサウンドをパフォーマンス。体に馴染みやすいボディシェイプフィンガーボードはローズウッド。クロームのハードウェアとダークステインのつや消しフィニッシュが道力。

